

農業改良助長法

協同農業普及事業の運営に関する指針 (運営指針R02.8制定)

○普及指導活動の基本的な課題

- 1 担い手の育成・確保
- 2 スマート農業の実践等による生産・流通現場の技術革新・生産基盤の強化
- 3 気象変動への対応等環境対策の推進
- 4 食料の安定供給の確保
- 5 農村の振興
- 6 東日本大震災からの復旧・復興と大規模自然災害等への対応

協同農業普及事業の実施に関する方針 (県実施方針(R3~R8))

○普及指導活動の課題と取組

- 1 みやぎの農業を担う次代の人材育成と革新技術の活用等による生産基盤の強化
  - (1)先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援
  - (2)新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援
  - (3)先端技術等の推進・普及による農業経営の効率化・省力化支援
  - (4)園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援
  - (5)収益性の高い水田農業・畜産経営の展開支援
- 2 時代のニーズに対応した農畜産物の安定供給
  - (1)みやぎの食と農への理解促進と安全・安心な農畜産物の生産の取組支援
  - (2)多様化する需要の変化に対応した生産・販路拡大への取組支援
- 3 多彩な「なりわい」の創出や多様な人材・機関との連携による持続可能な農業・農村の構築
  - (1)地域資源や地域の特色を活かした営農・所得確保等に向けた取組支援
  - (2)関係機関等との連携強化と合意形成推進による地域農業の維持・発展支援
  - (3)環境に配慮した持続可能な農業生産の取組支援
  - (4)大規模自然災害等からの復旧・復興に向けた支援

年度方針

令和3年度普及指導活動方針(年度方針) 年度方針に基づき重点的に取り組む、5つのプロジェクト課題

活動のテーマ

1 地域農業を支える農業経営体の確保・育成と地域農業の構造改革に向けた取組支援【農地中間管理】

- ・地域農業を担う経営体の確保育成
- ・農地中間管理事業を活用した農地集積・集約化の推進
- ・地域農業の構造改革を図る取組支援



2 園芸産出額増大と地域の特色ある園芸品目生産拡大に向けた産地育成の取組支援【園芸振興】

- ・高度な環境制御を導入した施設園芸の取組
- ・大規模露地園芸に取り組む経営体の栽培技術支援
- ・多様なニーズに対応した特色ある園芸品目の生産拡大



3 先端技術等の普及拡大と生産性の高い農業の実現に向けた取組支援【アグリテック】

- ・土地利用型農業の効率化・高度化に向けた、アグリテックの導入や効果的活用支援
- ・搾乳ロボットなどICT機器を用いた、効率的で生産性の高い農業の実現



4 食と農の相互理解と国際水準の農業生産工程管理(GAP)育成・定着支援【GAP】

- ・食と農に対する理解促進
- ・国際的に通用する農業生産工程管理(GAP)に取り組む経営体の育成



5 「なりわい」の創出等、持続可能な農業・農村の構築支援【持続可能な農業・農村構築】

- ・地域資源を活用した特産品づくり
- ・都市と農村の交流促進



年度計画

各普及センターが取り組む活動概要

- 1 プロジェクト活動・・・35課題(新規16, 継続19), 活動期間(終期)を定め, 対象者を特定して活動 [農地中間管理事業, 園芸, アグリテック, GAP, 持続可能な農業・農村]
- 2 重点活動……………42課題, 活動期間は特に定めず, 対象者はプロジェクト活動より広い
- 3 一般活動……………活動内容や対象者が広範囲, 普及センターの基礎的な活動

1 主なプロジェクト活動

- ☆大河原 中山間地域農業の担い手となる集落営農法人の設立・育成(中山間、法人化)
- ☆美里 土地利用型法人の早期経営安定(持続的な法人経営、経営計画、輪作体系)
- 栗原 農地整備を契機に設立した農事組合法人の営農モデル構築(法人経営、大豆導入、新品目導入)
- 登米 土地利用型農業法人の体制整備による経営安定(法人経営、園芸規模拡大、労働配分)

- ☆大河原 担い手確保・育成による果樹産地の維持発展(担い手確保・育成、果樹産地維持発展)
- ☆亘理 新たな技術・販売手法の導入によるカーネーション産地の活性化(IPM、産地表示)
- ☆大崎 「水田フル活用」に向けた土地利用型経営体によるえだまめの産地育成(産地育成、経営指標、販売力強化)
- ☆気仙沼 市場等ニーズに応じた花き・花木生産による経営発展(栽培技術、雇用創出)

- 仙台 先進的園芸経営体の生産技術向上による経営安定(環境制御、作業工程見直し)
- 登米 きゅうり環境制御技術のスキルアップによる生産拡大(環境制御、収量向上)
- 栗原 スマート農業技術の活用による土地利用型作物の生産性向上(経営管理支援システム、土地利用型作物)

- 石巻 組織力強化による農業法人の経営ステップアップ(社内体制整備、GAP、技術継承)

- ☆大河原 令和元年東日本台風被災農地の復興に向けた竹谷地区の担い手確保・育成(営農再開、担い手確保・育成)
- ☆仙台 農村の維持発展を支える法人経営の体質強化(法人体質強化、生産技術、園芸品目導入)
- ☆大崎 下真山地域におけるほ場整備事業を契機とした地域農業の発展(地域営農、高収益作物、野生鳥獣害)

2 重点活動

※(1)は全普及センターで必須取組

- (1)新たな担い手の確保・育成に関する取組
  - ・新規就農者の確保・育成支援
- (2)農業経営の安定化やステップアップ等に関する取組
  - ・地域を担う集落営農等の法人化に関する支援
  - ・法人経営管理能力向上支援
- (3)新たな園芸産地育成に関する取組
  - ・大規模露地野菜法人の経営安定化支援
  - ・園芸産地の育成支援
  - ・環境制御システム導入経営体技術向上支援
- (4)地域の実情に合わせた重点的に活動すべき取組
  - ・地域農業再編
  - ・農産物の生産振興、特産品開発
  - ・米ブランド化のための生産安定
  - ・直売所の販売戦略
  - ・酒造好適米の生産安定

3 一般活動

- 地域農業の担い手の育成・確保
- 法人化支援, 法人の経営管理能力向上支援
- 水稻の安定生産と省力・低コスト稲作の推進
- 土地利用型作物(大豆、麦)の生産性向上支援
- 野菜、果樹、花きの生産拡大と品質向上支援
- 畜産の生産性向上と経営安定
- 安全安心な農畜産物の生産支援(放射性物質検査含む)
- 野生鳥獣被害防止対策の支援
- 展示ほ・実証ほ等の設置運営

※左記に記載した主なプロジェクト課題は、35課題から抜粋した。  
( )内は主な推進事項等を記載している。  
☆ 新規課題 ○ 継続課題

第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画 R3~R12

反映

革新支援専門員プロジェクト課題

広域的な課題解決, 新技術・革新的技術の普及, 民間等との連携

- ①農業経営の効率化に向けたアグリテックの活用
- ②ICT技術を活用した新たな普及活動の実践

- ①活動内容 ○スマート農業実証プロジェクト(いかずち)  
○スマート農業支援体制強化、スマート農業推進ネットワークの活動支援・情報発信
- ②活動内容 ○ICTを活用した普及活動手法の習得による現地活動(会議、研修を含む)の積極的な実施  
○ICTを活用した普及活動の効果検証